

令和3年4月25日

広島県知事様

住所 〒731-381 広島県山県郡安芸太田町大字柴木1734番地
団体名 特定非営利活動法人 三段峡－太田川流域研究会
代表者氏名 本宮 炎 印

広島県温暖化対策活動促進補助金交付提案書

広島県温暖化対策活動促進補助金の交付を受けたいので、広島県温暖化対策活動促進補助金交付要綱第7条の規定に基づき、関係書類を添えて提出します。

1. 交付を希望する事業の内容

(1) 事業名

なくそうフードロス！！ つながり学ぶ、ベランダ・コンポスト啓発事業

(2) 事業実施主体

	名称	所在地
(団体)	特定非営利活動法人 三段峡－太田川流域研究会 (略称：さんけん)	広島県山県郡安芸太田町 柴木1734
(市町)		

別紙 1 (様式第 1 号)

(1) 事業内容

<p>目 的</p>	<p>(活動を行う目的, 意義, 効果等を簡潔に記入してください。)</p> <p>(背景)</p> <p>令和 2 年度まで広島県「省エネ活動促進補助金」を活用して、自然への関心の醸成から省エネ活動の啓発をしてきた。今後も自団体の活動の中で、自然観察と省エネ促進を続けていく。しかし、地球温暖化の影響は徐々に表れ、更なる取り組みが必要だと考えている。『DRAWDOWN ドローダウン——地球温暖化を逆転させる 100 の方法』(山と溪谷社)では温暖化を止める方法の第一位を食品廃棄に関わるアクションとしている。</p> <p>そこで「省エネ」に加え、温室効果ガスの大きな原因の一つである、食品ロスや食品にまつわる様々な課題にアプローチしたい。また新型コロナウイルス感染症の拡大によりフィールドを活用した取り組みが困難になった課題があった。同時にライフスタイルの変革によりオンラインでの取り組みが身近になった。引き続き同感染症の影響は予想されるため、オンラインを活用した取り組みを取り入れることで、より広範囲の県民にアプローチできるように取り組みたい。</p> <p>(意義と効果)</p> <p>①温室効果ガスの8%は食品ロスが占める(国連食糧農業機関)。食品ロスは市民のちょっとした工夫や心がけで大きく改善が期待できる。ベランダ・コンポストを活用して、消費者が食品と向き合い、「可食部分の廃棄の削減」「生ごみの減少」の行動を促し、「過剰包装」や「消費期限の長いものを選択し、消費期限切れの商品が増える問題」など食に関する温室効果ガスの排出削減についての啓発をする。</p> <p>②温室効果ガス削減には、わたしたちのライフスタイルの変革が必須である。その一つがスローフードに代表される郷土の食文化の見直しである。太田川の葦や、籾殻燻炭等の里山の資源をコンポストに活用し、都市と田舎がコンポストでつながり、「地産地消などの環境に配慮した消費行動」への啓発をする。</p> <p>③コンポスト基材の一つである「葦」の刈り取りとコンポストの土を使い畑作をして、コンポストによって生まれた堆肥による地産地消野菜の農場として発信し、自分たちにできる「環境に配慮したライフスタイルの提案」をする。</p>																			
<p>活動形態</p>	<p>※該当する□を塗りつぶしてください。</p> <p>■ 普及啓発 □ 調査研究</p>																			
<p>補助対象事業期間</p>	<p>※最長 3 年間</p> <p>令和 3 年 6 月 1 日～ 令和 6 年 2 月 28 日</p>																			
<p>補助期間中の事業計画</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="400 1659 1157 1727">1年目: 身近にできる取り組み、ベランダ・コンポストの普及</td> <td data-bbox="1161 1659 1289 1727"></td> <td data-bbox="1294 1659 1516 1727"></td> </tr> <tr> <th data-bbox="400 1733 643 1823">イベント名 調査研究名</th> <th data-bbox="647 1733 1157 1823">内 容</th> <th data-bbox="1161 1733 1289 1823">参加人数</th> <th data-bbox="1294 1733 1516 1823">予算額 (実施済の場合は実績額)</th> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1830 643 1973">葦刈り体験</td> <td data-bbox="647 1830 1157 1973">コンポストの基材である「葦」を河川で刈り取り、河川の環境整備とともに、子供の川遊び体験や地域の自然を活用した葦の伝統農法を体験する。</td> <td data-bbox="1161 1830 1289 1973">20 人 (10 世帯)</td> <td data-bbox="1294 1830 1516 1973">0</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1980 643 2040">葦を活用した畑づくり</td> <td data-bbox="647 1980 1157 2040">葦刈りによって刈られた葦を使って、コンポストの土による畑作をする。</td> <td data-bbox="1161 1980 1289 2040"></td> <td data-bbox="1294 1980 1516 2040">107,250</td> </tr> </table>				1年目: 身近にできる取り組み、ベランダ・コンポストの普及				イベント名 調査研究名	内 容	参加人数	予算額 (実施済の場合は実績額)	葦刈り体験	コンポストの基材である「葦」を河川で刈り取り、河川の環境整備とともに、子供の川遊び体験や地域の自然を活用した葦の伝統農法を体験する。	20 人 (10 世帯)	0	葦を活用した畑づくり	葦刈りによって刈られた葦を使って、コンポストの土による畑作をする。		107,250
1年目: 身近にできる取り組み、ベランダ・コンポストの普及																				
イベント名 調査研究名	内 容	参加人数	予算額 (実施済の場合は実績額)																	
葦刈り体験	コンポストの基材である「葦」を河川で刈り取り、河川の環境整備とともに、子供の川遊び体験や地域の自然を活用した葦の伝統農法を体験する。	20 人 (10 世帯)	0																	
葦を活用した畑づくり	葦刈りによって刈られた葦を使って、コンポストの土による畑作をする。		107,250																	

・コンポストづくり体験会(オフライン)	参加者が実際にコンポストの素材を使い、コンポスト用の土を作成し畑で活用すると共に、一部を自宅に持ち帰り使用する。	30世帯	252,650
・コンポストを使った食品ロス削減講座(オンライン)	作成したベランダ・コンポストの取り扱いの説明動画やZOOMを活用し、食品ロスの問題やコンポストの使用方法を学ぶ講座を開催する。		
動画制作	ベランダ・コンポストの取り扱いの説明動画を製作し、YouTubeで公開する。	0	100,100
啓発教材づくり	コンポストの使用や食品ロス削減についての啓発教材を作成する。	0	40,000
2年目: 食品ロスや食に関係する課題を地球温暖化の視点から考え、実践する			
イベント名 調査研究名	内 容		予算額 (実施済の場合は 実績額)
葦刈り体験	コンポストの基材である「葦」を河川で刈り取り、河川環境整備とともに、子供の川遊び体験や地域の自然を活用した葦の伝統農法を体験する。	20人 (10世帯)	0
葦を活用した畑づくり	葦刈りによって刈られた葦を使って、コンポストの土による畑作をする。		138,000
・コンポストづくり体験会(オフライン)	参加者が実際にコンポストの素材を使い、コンポスト用の土を作成し畑で活用すると共に、一部を自宅に持ち帰り使用する。	40世帯	262,000
・コンポストを使った食品ロス削減講座(オンライン)	作成したベランダ・コンポストの取り扱いの説明動画やZOOMを活用し、食品ロスの問題やコンポストの使用方法を学ぶ講座を開催する。		
食品ロスや食に関する課題を学ぶ動画作成	前年度のコンポストづくりの参加者の使用の様子などを交えた啓発動画を作成。YouTubeを使った講座を開催し、ベランダ・コンポストの普及をする。	0	100,000
3年目: ベランダ・コンポストによる活動事例を広島県内に広く発信する			
イベント名 調査研究名	内 容		予算額
葦刈り体験	コンポストの基材である「葦」を河川で刈り取り、河川環境整備とともに、子供の川遊び体験や地域の自然を活用した葦の伝統農法を体験する。	20人 (10世帯)	0
葦を活用した畑づくり	葦刈りによって刈られた葦を使って、コンポストの土による畑作をする。		138,000
・コンポストづくり体験会(オフライン)	参加者が実際にコンポストの素材を使い、コンポスト用の土を作成し畑で活用すると共に、一部を自宅に持ち帰り使用する。	50世帯	288,000
・コンポストを使った食品ロス削減講座(オンライン)	作成したベランダ・コンポストの取り扱いの説明動画やZOOMを活用し、食品		

	減講座(オンライン)	ロスの問題やコンポストの使用方法を学ぶ講座を開催する。	
	啓発用冊子	コンポストの使用手法や活用事例と共に、食品ロスや食に関する温室効果ガス排出の課題、使用者の感想などをまとめた冊子を作成する。	74,000
補助期間終了後の計画		啓発冊子、動画、チラシなどの活用、コンポストづくりや野菜作りの継続を通じて、広く食品ロス及び食にかかわる温室効果ガスの課題について発信するとともに、小学校や飲食店、スーパーや集合住宅などで協力しながら、コンポストを活用して環境教育を実施する。また活動の資金にコンポストの売り上げの一部を充当し、継続的な活動をする。	
効果		(成果目標。活動の実施により期待できる効果を記入してください。)	
	CO2 排出削減量	<p>参加者が実施する直接的な削減量を記入してください。</p> <p><u>37,400 Kg-CO2</u></p> <p>(内訳) ●一人あたりの年間食品ロス量51kg(消費者庁) ●コンポストづくり講座参加の一世帯を平均4人とする →削減する世帯年間食品ロス 51 kg×4人≒200kg コンポストにより50%削減すると仮定し、1世帯の削減量 100kg ●排出係数 1.7(環境省:食品ロスダイアリーより) 1世帯 Co2 削減量100 kg×1.7=170kg</p> <p>(1年目)講座参加世帯数 30 世帯×170kg=5,100kg (2年目)講座参加世帯数40 世帯×170kg=6,800kg +1年目参加者 5,100 kg (3年目)講座参加世帯数 50 世帯×170kg=8,500 kg +1年目参加者 5,100 kg 2年目参加者 6,800 kg</p>	
	その他効果	<p>参加者以外への普及効果等を記入してください。</p> <p>動画配信や冊子の配布による食品ロスの課題への啓発 畑等の視察受け入れによる波及効果</p>	
		<p>(複数年次に亘る活動の実施より期待できる効果をできるだけ具体的に記入してください。)</p> <p>≪変化≫ (事業前)→ 温室効果ガス削減に食品ロス及び食に関わる問題の解決は効果が高いが、関心がもたれていない。 (事業後)→ ベランダ・コンポスト利用者が温室効果ガス削減に食品ロス及び食に関わる問題の解決は効果についての理解が進み、実践が促進される。 (将来像)→ 広く温室効果ガス削減に食品ロス及び食に関わる問題の解決は効果の理解が進み、環境に配慮したライフスタイルが実践されている。</p>	

別紙 2 (様式第 1 号)

事業費	(事業年度別に記入してください。)			
	令和 3 年度	597 千円	<input type="checkbox"/> 実施済	事業運営費明細書 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	令和 4 年度	620 千円	<input type="checkbox"/> 実施済	事業運営費明細書 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	令和 5 年度	640 千円	<input type="checkbox"/> 実施済	事業運営費明細書 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	合 計	1850 千円		

《事業運営費明細書》

令和 3 年度分

		予算額 (消費税 込)	明細 (内容, 単価, 数量等)
収入	自己資金	86,400	●コンポスト講座参加費 2,880 円×30 人=86,400 円
	寄付金	3,170	●会費 10,000
	本補助金	500,000	
	その他助成金等		
合 計		599,570	
支出	補助 要望 経費	222,100 円 (自己負担を含めた 総額 225,270 円)	●賃金 207,350 円 【葦を利用した畑づくり】 葦畑管理アルバイト謝金 7,150 円×15 日分=107,250 円 【動画作成】 動画制作アルバイト謝金 7,150 円×14 日分=100,100 円 ●旅費 17,920 円 (うち自己負担 3170 円) 【コンポストづくり体験会・食品ロス削減講座】 ・団体スタッフ旅費 8,480 円 (片道 26.5km×2×40 円×4 回) ・団体スタッフ高速道路利用料 9,440 円 (片道 1,180 円×2×4 回) うち 3,170 円は自己負担
	事業費(物品・使用料 等)	277,900	●コンポスト資材購入費 146,000 円 【コンポストづくり体験会】 ・土壌改良剤 88,000 円 (8,800 円@5.5 kg×10 個) ・籾殻燻炭 20,000 円 (2,000 円 100g@×10 個) ・葦材 38,000 円 (3,800 円@100g×10 個) ●コンポスト教材購入 30,000 円 【食品ロス削減講座】 ・教材費 1,000 円×30 人=30,000 円

			<ul style="list-style-type: none"> ●備品 35,500 円 【コンポストづくり体験会】 ・ 葦粉碎機 35,500 円 ●消耗品費 40,000 円 【啓発教材づくり】 ・ デザイン費 32,000 円 ・ 印刷費 8,000 円 ●郵送費 26,400 円 【食品ロス削減講座】 ・ 880 円×30 個=26,400 円
	小 計	500,000	
自己資金等		86,400	●コンポスト講座教材費 86,400 円 2,880 円×30 人=86,400 円
		10,000	食糧費・保険代
		3,170	高速道路利用料自己負担分
	小 計	99,570	
	合 計	599,570	

別紙3 (様式第1号)

(1) 提案事業の実施体制

省略

(2) 事業終了後の取組の継続

<p>継続した取組の内容</p>	<p>地域課題解決の見通し, 実施内容, 実施方法等を記入してください 地域課題解決の見通し, 実施内容, 実施方法等を記入してください 瀬戸内コンポスト販売事業者と協働し、動画や冊子を活用した活用したベランダ・コンポストの普及や、地域の自然農法実践者との協働による野菜づくりを継続する。土作りから野菜の収穫まで一貫して実施することで広島市を中心とした県内食品ロスや食に関わる課題解決の効果の高い啓発活動が予想される。活動資金としてコンポストや野菜の売り上げの一部を充当し環境保全活・啓発動を継続して実施する。</p>																			
<p>事業期間</p>	<p>令和 6 年 3 月 ~ 8 年 3 月頃</p>																			
<p>会議体, 実施体制</p>	<p>会議体の継続, 支援者や参加者の増加見込み等について記入してください 会議体の継続, 支援者や参加者の増加見込み等について記入してください 自団体をハブに複数の事業者が、食品ロス及び食に関する課題について取り組む相互関係を構築する。非営利団体が加わることで企業・事業者が社会的責任を果たしやすくなる。なくそうフードロスは多くの企業・事業者の課題であり様々な連携が期待できる。</p>																			
<p>収支見込み</p>	<p>収支見込 (千円)</p> <table border="1" data-bbox="520 1034 1374 1151"> <thead> <tr> <th></th> <th>6 年度</th> <th>7 年度</th> <th>8 年度</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収 入</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>支 出</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業終了後3年分を記入してください。</p>						6 年度	7 年度	8 年度	合 計	収 入	100	100	100	300	支 出	100	100	100	300
	6 年度	7 年度	8 年度	合 計																
収 入	100	100	100	300																
支 出	100	100	100	300																
<p>資金調達, 人材確保等</p>	<p>資金, 人材の確保, その課題等について記入してください 資金 ・瀬戸内コンポスト 農業者からの関係事業者からの寄付 ・イベント参加費 ・活動の共感者からの寄付 人材の確保 ・ベランダ・コンポスト利用者の協力 ・瀬戸内コンポストからの協力 ・農業従事者からの協力 課題 ・ベランダ・コンポストの普及が課題。現在大都市におけるベランダ・コンポストのブームがあるが、比較的自然の近い広島市での広がりが未知数。環境教育の教材として学校やスーパーなどとの協力関係を築きたい。 ・地球温暖化防止のためには、根本的に私たちのライフスタイルの見直しが必要である。「食事」に関する見直しは、最も効果の高い取り組みと考えられる。コンポストの想定する対象者は小学生中学年以下の子育て世代の教育</p>																			
<p>情報公開</p>	<p>自団体 Web サイト P 会報 SNS 瀬戸内コンポスト Web サイト SNS 視察受け入れ</p>																			

(3) 団体の概要

省略